

由利

立教 187 年 令和 6 年

1 月 号



立教 187 年元旦祭にて

十二月

- 一六日 神殿、婦人会教会大掃除
- 一九日 北蒲原分教会月次祭
- 二二日 大教会月次祭
- 二六日 御本部月次祭
- 二八日 役員当番
- 三〇日 もちつき、年越し

立教一八七年一月

- 一日 元旦祭（10時30分）
- 三日 由利役員会議
- 支部例会（羽後分教会）
- 五日 お願いづとめ
- 五日～十日 部内大祭巡教
- 五日 お願いづとめ
- 七日 おさづけ取り次ぎ日
- 一二日 会長、理事会議
- 一三日 由利分教会春季大祭

1ヶ月間の年なまみ

新年の御挨拶



由利分教会長

佐々木 正明

改めまして皆様新年明けましておめでとうございます。昨年中は、何かと教会の上に御心寄せを賜り誠に有難うございました。

皆様御承知の通り、今年は正月元旦に能登半島地震、二日に羽田空港における飛行機事故と神様の厳しいおし込みを感じるような災害や事故が相次ぎました。

このような神様の深い思召を見せられるような中、教祖百四十年祭三年千日の二年目の年を迎えます、年祭活動と言っても、ともすれば“何か実行しなければ”と考えているうちに終わってしまったという事もありえると思います、先月の月次祭で由利

部内の年祭活動として二つの具体的目標を掲げさせて頂きました。

一つは、令和八年一月二十六日の御本部神殿での教祖百四十年祭の祭典後に、神殿にそのまま由利部内の方々に御参集頂き、部内の教会から寄せられた御供えを一つにさせて頂き、それを神殿に御供えしおつとめをさせて頂くという事です。

これを実行する事によって、いくらかなりとも世界一列を助けるために二十五年定命をお縮めになった教祖の親心にお応えさせて頂きたいと思っています。

二つ目は、今年の御本部秋季大祭参拝のためのおぢばがえり団体の実施です、最近はおぢばがえり帰参者も減少しているように思いますが、信仰者として特に大祭の参拝は忘れてはならない事の一つように思います。秋季大祭は、天保九年十月二十六日教祖が月日の社となられた日、つまりこのお道が始まった日を思い返してつとめられる理のある大祭で

す。観光を含めた団体となりますが、年祭活動期間中には是非この大祭に参拝するための団体を今から呼びかけさせて頂きたいと思います、

どうぞこの新たな一年、旬にふさわしい実働をさせて頂き、元気で勇んだ一年を共に通らせて頂きますようお願い致します新年の御挨拶とさせて頂きます。

新年を迎える喜びと共に

教会元旦祭執行

一月元日午前十時半より元旦祭を執り行わせて頂きました。由利につながるたくさんの方々の皆様の真実のおかげで勇んでつとめさせて頂くことができました。

おつとめ後恒例の記念写真を撮り、その後直会となりました。ゆっくりと盃を交わしながら歓談させて頂き、新年を喜ばせて頂きました。

神殿大掃除ひのきしん 婦人会による教会大掃除

去る十二月十六日九時半から神殿の大掃除、婦人会として教会内の大掃除をして頂きました。

大掃除終了後、ハンバーガーとお茶を頂き、歓談をして楽しい一時を過ごしました。



また三十一日には、全ての三方、八足を拭いてキレイにしました。

皆様の真実により、教会内が隅々

までキレイになり、気持ち良く新年、元旦祭を迎えることができました。

誠にありがとうございました。



お助け活動の一環として おさづけ取次ぎ日順調に実施される

当月報の“一ヶ月の歩み”で毎月報告されていますので皆様御承知の事と思いますが、当教会で令和四年十二月から『おさづけ取次ぎ日』を毎月七日午後一時半からという事で開始させて頂いた訳ですが、お陰様で途切れる事なく継続させて頂き、先月令和五年十二月で二年目を迎えてさせて頂く事が出来ました。

当教会でも、これまでも信者さんの中で重い身上になられた場合、お願いいづれと共におさづけの取次ぎを実行してきた訳ですが、比較的軽度だったり慢性的な身上の方のおさづけはなかなか改めて取次ぐ機会がなかったのが現状だったように思います。

そういう中で、一ヶ月の中で一回でも二回でもおさづけの取次ぎを受けたいと思われる信者さんがおられる事を知り、それでは講社づと

めのない日に実行させて頂こうという事になり現在に至っている次第です。

会長さんからのおさづけの取次ぎが終わった後は、食堂でお茶タイムという事で奥さんを囲んで和気あいあいと語り合うのも又一つの喜びかとも思っております。

出来る事からの実行という意味では、これも一つの年祭活動の一環と言ってもいいのではと思っています。これからも継続させて頂こうと思っておりますので、おさづけの取次ぎを希望の方は、どうぞお気軽に御参加下さいようお願い致します。

婦人会より

婦人会創立記念日十二下りておどりを二月五日(月)十時より行います。教祖百四十年祭三年千日の二年目、心新たにいつもめさせて頂きましょう。よろしくお願い致します。
(参加費、二百円。はっぴ、白ソックス、扇持参。)

神 殿 講 話 仁 賀 保 分 教 会 会 長

開扉・献饌の男子の方は**十時**まで、女子の方は、**十時二十分**までおつとめ着を着用し、神殿にご集合下さい。

元旦祭は、田村家、教会家族、総勢十三名で元氣につとめました。